

## 第2学年 算数科学習指導案

1 単元 見方・考え方をふかめよう (2) (本時2/3)

2 本時の目標と授業後になりたい「みちガエル」の姿

< 目標 > はじめの数から数が続けて減る場合の变量をまとめて考えることができる。

(思考力・判断力・表現力等)


< みちガエル > 数が続けて減る場合に、变量をまとめることができる理由を、自分の言葉で、友達に説明することができる姿。

(活動6 (1) の児童の様子より)

3 発言しようとする意識を高めるための取り組みについて (アンダーライン)

全員が取り組めたり、自分の考えを表したりすることができるように、ワークシートを用意する。

4 展開

段階	子供の活動	教師支援 (㊸主体的に学び続ける手立て ㊹個に応じた指導)
つかむ (5)	1 前時の学習を振り返る。 ・順に考える方法があったよ。 ・まとめて考える方法があったよ。 2 問題を知り、場面の状況を把握する。 ・昨日も今日も5個食べているね。 ・ケーキが今、何個あるか聞かれているよ。 3 学習課題を設定する。	・前時にはじめの数から続けて増える問題について、順に考えたり、増えた数をまとめて考えたりした2つの方法を振り返る。 ・学習の意欲を高めるために、自作の問題を提示する。  ㊸ 「どんな課題にしたいですか。」
見通す (3)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;">                         ケーキが何こになったのか、考えたい。                     </div> 4 なりたい「みちガエル」姿と見通しをもつ。  <u>どのように考えたのか、ペアの子にせつ明</u> <u>することができる。</u> ・見通し ①順に考える方法 ②まとめる方法	㊸ 「何ができたらみちガエルかな。」  ・提示した問題について、前時と違うところはどこか問う。
深める (30)	5 <一人で「まち・かんガエル」タイム> ワークシートに、減った順に、矢印の図に○シールを貼る。 ・順に考えてみようかな。 ・食べるということは、減っているから、まとめて考える方法でもひき算を使うよ。  6 <みんなで「まち・かんガエル」タイム> (1) チームに、どのような方法で解いたか、言葉や図を使って説明する。 ・きのう5個食べたから、 $24 - 5 = 19$ さらに今日5個食べているから、 $19 - 5 = 14$ <u>14こ</u> ・きのう5個、今日5個食べているから、食べた数は全部で、 $5 + 5 = 10$ で10個。 最初の数から引いて、 $24 - 10 = 14$ <u>14こ</u> (2) 全体に、どのような方法で解いたか発表する。 (3) まとめてとたし算になる意味を考える。 (4) ペアの子に説明する。 (5) どちらの解きの方が解きやすいか問う。	・「今からまち・かんガエルタイムです。」 ㊸ チームで発表をするときに全員が話せるように、考えを表すためのワークシートを配る。 ・困っている児童は、ヒントカードを使ってもよいことを伝える。 ㊹ まとめて考えにくい児童には、「図でいうと、減った数をまとめているのはどの部分か」と問う。  ・チームの子に自分の言葉で説明している児童を称賛する。
振り返る (7)	7 <ふりカエルタイム> (1) 「みちガエル」になれたかを自己評価する。 (2) 本時で学んだことや思ったことを発表する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         ・ひき算でも、じゅんに考えたり、まとめて考えたりすることができたよ。                          ・まとめて考えると、かんたんに計算できることがあるかもね。                     </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>&lt;授業の山場&gt;</b>                          まとめて考えるときはたし算を使うということに気付かせるために、数が減っていくのに、なぜたし算の式になるのか、問う。                     </div> ・まとめて考えるよさに気付くように、2つの方法を比べ、計算が簡単にできることを確認する。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>&lt;まとめ&gt;</b>                          ひき算でも、順に考える方法や、まとめて考える方法で解くことができる。                     </div> ㊸ チームの子に、「みちガエル」になれたかの評価を決めてもらうよう促す。 ㊹ うまく書けない児童には、まとめの言葉を使って書くことよいことを助言する。

